

第27回分析センターワークショップ

微細構造を見る・組成を知る・内部構造を見る

【日時】 2017/6/13~15 9:30~17:00

【場所】 九州大学伊都キャンパス・ウエスト3号館1階101室

【主催】 九州大学中央分析センター【協力】 オリンパス株式会社

OLYMPUS in Ito! 開催します。

OLYMPUS in Ito! は、オリンパス株式会社と伊都地区中央分析センターのコラボ企画です。3日間下記の機器の展示・デモ測定を行います。お気軽にご参加ください。

共焦点レーザー走査型顕微鏡



FLUOVIEW FV3000シリーズは、高感度、高速を必要とする生きた細胞・組織のイメージングや、マイクロプレートを用いた複雑なプロトコルを使い易くイメージングします。また、2D-6D (x, y, λ, z, t, ポイント) イメージングからデコンボリューション等の画像処理、さらには分析に至るまで最適なワークフローを提供します。特に、細胞生物学、がん、幹細胞の研究分野におけるマクロからミクロでの細胞や組織の観察やタイムラプスなど、さまざまなニーズに応えることができます。

ハンドヘルド蛍光X線分析計



VANTAシリーズは、優れた堅牢性・耐久性と高い分析性能を備えており、直感的な操作が可能な携帯型の蛍光X線分析計です。分析ラボの品質と同等レベルの検査を、現場で素早く非破壊で実現し、元素成分を高精度に分析することができます。

VANTAは、耐久性に優れた堅牢設計により、さまざまな使用環境に対応可能です。ダウンタイムを減らすことで、所有コストの低減にもつながります。

超音波フェーズドアレイ探傷器



超音波フェーズドアレイ探傷器(PA)は、アレイ状に配列された振動素子の励振するタイミングを電子制御することにより複数の電子ビームを生成し、非破壊で検査対象物の内部を画像化する装置です。

小型・軽量のOmniScan SXでは、超音波フェーズドアレイ探傷器(PA)および従来型の超音波探傷器(UT)の2モデルを用意しています。TOFD溶接検査も可能で、PAではシングルグループに対応しています。

【申込要領】

サンプル測定を希望される場合は、エクセルファイルに必要事項を記入してお申込みください。研究室からの人数制限はありません。見学の方は申込の必要はありません。時間内にお出でください。

申込先： 中央分析センター伊都分室・渡辺 092-802-2857
watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp